

研究課題名「大腸癌手術後における腹壁癒痕ヘルニア発生のリスク因子」に関する情報公開

1. 研究の対象

2006年1月から2016年9月までに当科で大腸癌根治術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究機関

腹壁癒痕ヘルニアは大腸癌根治術における頻度の高い術後合併症の一つである。患者のQOLやボディイメージに影響するため、その発生リスク因子を探索することは有意義と考える。

腹壁癒痕ヘルニア発生のリスク因子を明らかにし、今後の治療に活かすことが目的である。

本研究は上記対象患者さんの臨床情報を後方視的に検討する。

研究機関は当院の生命倫理委員会の承認後から2020年12月31日とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、病歴、手術日、創の局在、手術内容、癒痕ヘルニアの部位、癒痕ヘルニアの発生日、傍ストマヘルニアの有無、癒痕ヘルニア手術の有無および術式、死亡日、ステロイド治療歴、糖尿病の有無、開腹歴、抗がん剤治療の治療歴、合併症の発生状況、ストマ造設および閉鎖の状況、ストマ閉鎖日、ストマ閉鎖部ヘルニアの有無、術前放射線治療の有無、最終診察日、カルテ番号 等

4. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話番号：052-741-2111

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院 病院講師 上原圭介